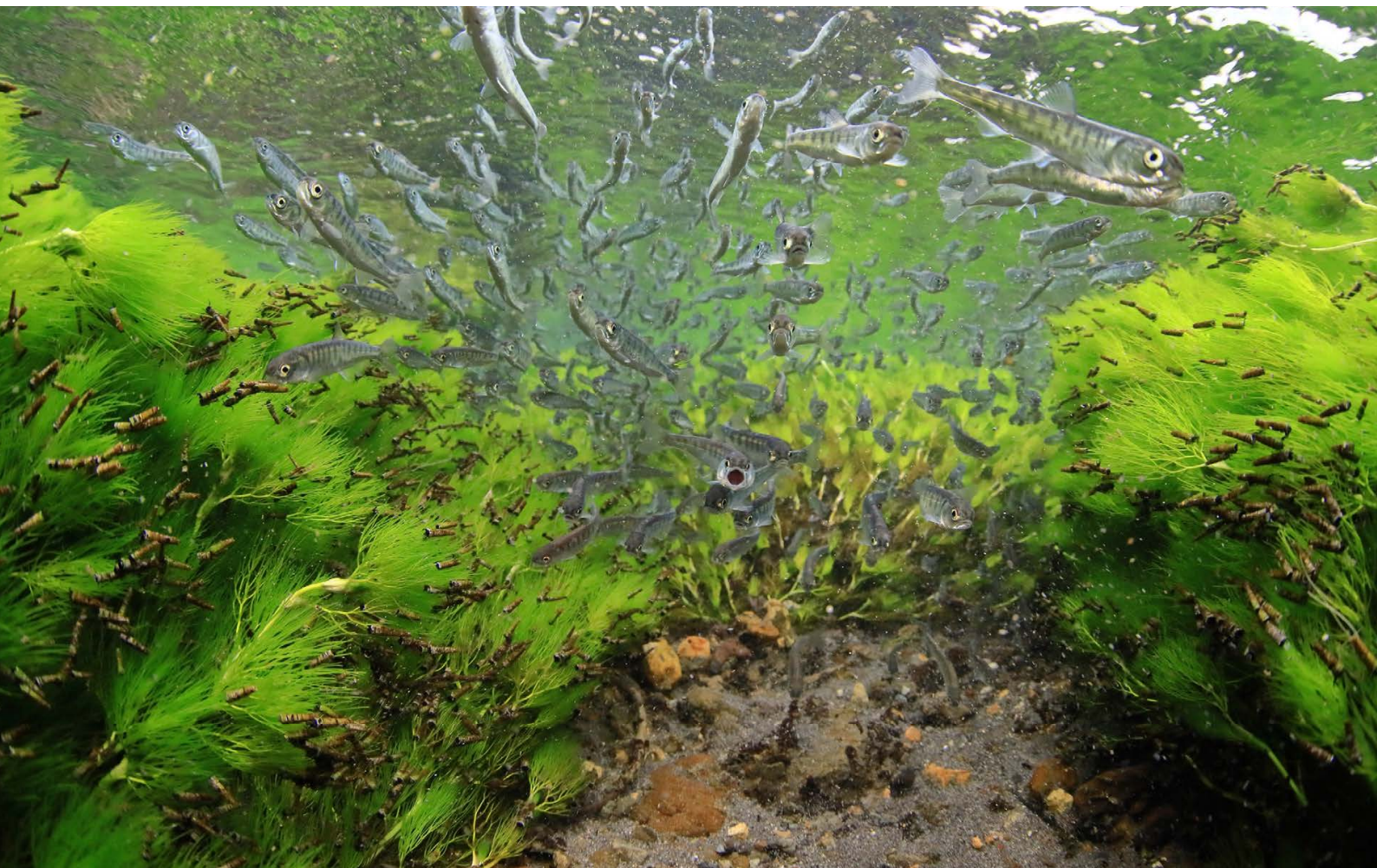


SALMON 情報

第17号

2023年3月

- サケ放流手法の最適化を目指して
- ふ化放流の効果を高めるためには野生魚の保全が重要だった
- カラフトマスの採卵時期及び育成条件の見直しによる放流時期の適正化
- 岩手県における吸水前消毒によるサケの冷水病防除に関する取り組み
- 海鳥ウトウによるサケ幼稚魚の捕食
- 本州日本海由来サケ稚魚の移動経路
- さけの遡^かる川-3 石狩川（北海道）
ほか



編集 水産資源研究所さけます部門



国立研究開発法人
水産研究・教育機構

目次

研究成果情報

- サケ放流手法の最適化を目指して…………… 斎藤寿彦 3
- ふ化放流の効果を高めるためには野生魚の保全が重要だった：
野生魚は放流稚魚の回帰率を改善する…………… 佐橋玄記 9

技術情報

- カラフトマスの採卵時期及び育成条件の見直しによる放流時期の適正化
…………… 羽賀正人・増川則雄 13
- 岩手県における吸水前消毒によるサケの冷水病防除に関する取り組み
…………… 小林俊将・高橋憲明 17

会議報告

- さけます関係研究開発推進会議…………… 本田 聡・佐藤俊平 21
- さけます報告会…………… 高橋昌也 24

トピックス

- 海鳥ウトウによるサケ幼稚魚の捕食…………… 大門純平 27
- 本州日本海由来サケ稚魚の移動経路
～山形県から放流されたサケ稚魚を宗谷海峡で初確認～…………… 今井謙吾 30

さけます情報

- さけの遡^{かえ}上る川-3 石狩川（北海道）…………… 有賀 望 32
- 北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖…………… 外山義典 35

コラム

- サケと「SDGs」～これまでの貢献とこれからの課題～…………… 藤井徹生 37

mini column

サケの放流が行われている河川では、放流したふ化場の下流でサケ稚魚が群れをなす様子を見ることができます。

北海道東部を流れる西別川の源流は、摩周湖の水が地下に浸透して湧き出たものと言われており、付近には2つのふ化場が存在しているほか、良好な水質の指標とされるバイカモが繁茂し、サケ稚魚の餌となる水生昆虫も多く生息しています。2つのふ化場から放流されたサケ稚魚は、暫しの間バイカモの間で元気に泳いだ後、約80km下流の河口をめざして川を下り始めます。



(撮影：大本謙一氏)